

「安平町生涯学習計画（案）」

意見募集（パブリックコメント）の結果について

安平町生涯学習計画（案）について、貴重なご意見をいただきありがとうございました。意見募集をした結果について、下記のとおり取りまとめましたので公表します。今後、本計画については提出いただいたご意見等を踏まえて修正を加え、6月末頃公表予定です。

1. 募集期間 平成 26 年 4 月 21 日～5 月 16 日
2. 意見提出人数及び件数 3人 1 団体 17件
3. 公表方法 町ホームページ、広報あびら（4月号）、追分公民館、早来町民センター

	意見の概要	教委の回答	備考
①	安平町の幼少中高連携の一環として合同キャンプを鹿公園で行ってはどうか。また、山登りやハイキングを通して歩く力も育めるのではないか。	ご提言いただきましたことについて、施策の中で検討してまいります。	
②	生涯学習の発表として、各サークルの活動報告ができる展示スペースを設けてはどうか。		
③	早来郷土資料館の移転が検討されているようだが、安平町の歴史観として開拓から現在に至るまでの歴史がわかるような施設としてはどうか。		
④	高等学校教育について追分高校を地域にとって存在感のある学校となるよう支援するとありますが、	北海道追分高等学校につきましては、普通科ですので、できる範囲の中で魅力ある、地域にとって存在感	

	地域を担っていける人材を育てる学校としてはどうか。具体的には、農業・農産加工・調理・林業など専門的活動・研究を行なえる特色を持つ学校である。経営マネジメントなども取り入れ、起業も視野に入れた実際に役立つことが学べる学校は魅力的であると思う。	のある学校となるよう支援してまいります。	
⑤	特色ある幼児教育、思考力・判断力・表現力の育成、いじめ問題解決、体力向上への取組として、野外教育・冒険教育を取り入れてはどうか。	ご提言いただきましたことについて、施策の中で検討してまいります。	
⑥	学校給食・食育について、地産地消の食材を日本の伝統的調理方法に基づいて提供するのによいのではないか。また、学校農園を通して作物の栽培を体験し、味噌作りや漬物作りを通して自分たちの食べるものを自分たちで作るという体験は素晴らしい教育活動であると思う。	食育推進計画に基づく、食育の推進と新しい給食センターを活用しながら学校給食材料の地域産物導入と子どもたちと生産者の交流などの食育教育を進めてまいります。	
⑦	国際交流について、たくさんの施策があり楽しみにしています。 「食の文化交流会」「英会話教室」とも楽しみです。	安平町国際文化交流センターと協力しながら進めてまいります。	
⑧	はじめに生涯学習の解説が必要ではないか	ご提案のとおり、生涯学習の意義、生涯学習社会について、用語解説の中で説明させていただきます。	
⑨	まちづくり条例で言う体系化とは、三領域(家庭教育、社会教育、学校教育)の役割を明確にし、統	ご意見を踏まえて施策の中で検討し展開してまいります。	

	<p>合・組織化することである。</p> <p>家庭教育 基本的な生活習慣を身につけさせる場</p> <p>学校教育 学校は学力をつける場所</p> <p>社会教育 公民館を拠点とした成人教育、必要に応じて大を住民が積極的に学ぶ場</p>		
⑩	公民館活動の点検評価、情報提供、指導者養成について	公民館運営審議会の中で協議しながら進めてまいります。	
⑪	「古い学力観」と「新学力観」とは	<p>① 旧来の学力観は知識や技能の習得を中心とした学力観</p> <p>② 思考力や問題解決能力、表現力などを重視し、生徒の個性を重視する学力観</p>	
⑫	生きる力を育むとは	子どもたちに必要となるのは、いかに社会が変化しようと、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力であり、また、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を育むこと	
⑬	早寝、早起き、朝ごはん運動の推進	子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和の取れた食事、十分な休養・睡眠が大切です。こうした基本的な生活習慣の乱れが、学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されています。個々の家庭や子供の問題として見過ごすことなく、家庭、学校、地域と連携した取組をおこないます。	

⑭	「確かな学力」をどのように育成していますか。	安平町は教育課程の内外で学社融合授業(事業)を進めています。町内の人的・物的資源を存分に活かしながら学習活動を展開することで、子どもたちの学力向上の意欲を地域の教育力で高めています。	
⑮	ゼロ予算事業についてだが、現在は有償ボランティアの考え方が主流であると思うが。	あいさつ、声かけ運動や企業、団体などの協力を得るなど、新たな予算を伴わない事業を「ゼロ予算事業」として位置づけ推進していきます。	
⑯	行政の計画に特定の企業名を載せない方がよい。	文言を整理いたしました。	
⑰	ポジティブ、ネガティブのくどりがあったが、文言として載せる必要はないのではないか。	文言を整理いたしました。	